

令和元年度事業の総括

令和元年度の沖縄観光の入域客数「ビジットおきなわ計画」目標 1,030 万人（海外 324 万人）に対しまして、946 万 9,200 人（国内 697 万 8,800 人・海外 249 万 400 人）で、対前年比 53 万 5,100 人、率にして 5.3%の減少となった。

年度の観光客数としては、東日本大震災を受けた平成 23 年度以来 8 年度ぶりの減少となり、平成 30 年度に超えた 1,000 万人を下回る事となった。

前年度と比べて減少した要因として、年度後半における日韓情勢の悪化による訪日旅行の自粛や新型コロナウイルス感染症の影響に伴う入国制限のため、海外航空路線の減便やクルーズ船寄港回数の減少・国内航空路線の減便や利用率の低下による国内客の減少等が主な要因と考える。

名護市観光協会では、毎年 4 月に 21 世紀ビーチに於いて海の安全祈願祭を行い年度の事業がスタートした、第 41 回名護市長杯争奪全島ハーリー大会や第 58 回名護さくら祭りのイベントを実施したほか、東京都にて日本さくらの会総会・群馬県館林つつじ祭りや、北海道日本ハムファイターズ札幌応援ツアー&名護デーに名護さくらの女王を派遣し名護 PR を行った。

第 46 代名護さくらの女王選考会も 6 名のエントリーとなり最も少ない選考会となった時代の変遷とともに選考会の在り方を模索する必要性も高まっており、当協会役員や他関係者の意見を集約しながら検討したいと思えます。

OCVB と連携し「沖縄修学旅行説明会」に参加し、職員 1 名と青年部 STEP を県外 8 府県に派遣をし体験事業の PR 説明を実施しておりますが、ハーリー体験事業の受入につきましても、台風接近や高波によるキャンセルが相次ぎましたが修学旅行 1 校・企業 3 社に留まりました、今後も引き続き体験型商品の PR 強化を行ってまいります。

また、沖縄県観光功労賞に当役員の安里廣氏が、当協会推薦として歴代 5 人目の受賞を得まして、沖縄フルーツランドにて盛大に祝賀会を開催いたしました。31 年間現在に至るまで、当役員としてご尽力いただき、今後ともご指導ご協力を賜りたいと思えます。

また、第二次名護市観光基本計画を基軸とし、市地域経済部観光課と連携を強化すると共にその他の事業においても、北部広域事務組合を中心に、北部地域観光協会並びに各団体と連携し、本市及び北部地域の魅力ある観光資源の PR と観光客の誘致受入体制の強化に向けて取組んでまいります。

【会 議】

第 1 回理事会 【令和元年 6 月 3 日（月） 15 時～ 名護市産業支援センター2 階会議室】

- ・平成 31 年度事業報告及び付属明細書の承認の件
- ・平成 31 年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び付属明細書並びに財産目録の承認の件
- ・監事候補者名簿承認の件
- ・顧問選任の件
- ・評議員開催日日時及び場所並びに議案事項について

第 1 回評議員会 【令和元年 6 月 21 日（金） 16 時 30 分～名護市産業支援センター2 階会議室】

- ・平成 31 年度事業報告及び付属明細書の承認の件
- ・平成 31 年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び付属明細書並びに財産目録の承認の件
- ・監事候補者名簿選任の件

第 2 回理事会 【令和元年 11 月 18 日（月） 15 時～名護市産業支援センター2 階会議室】

- ・定款一部変更（案）について
- ・役員報酬（案）について

第 2 回評議員会 評議員会に関する提案書 書面決議（案）

下記の内容について、1 月 20 日付ですべての評議員の同意を得た

- ・定款一部変更（案）について

第 3 回理事会 【令和 2 年 3 月 27 日（金） 14 時～名護市産業支援センター2 階会議室】

- ・令和 2 年度事業計画（案）について
- ・令和 2 年度収支予算（案）について
- ・臨時職員規程変更（案）について

【公益目的事業】

1. 2019 海の安全祈願祭

平成 31 年 4 月 20 日(土) 21 世紀の森ビーチに於いて、9 時からビーチクリーン実施。
各企業・団体含め約 100 名の動員がありました、また、名護市長をはじめ観光協会役員
関係者で海の安全祈願祭を行いました。

2. 第 41 回名護市長杯争奪全島ハーリー大会

令和元年 8 月 4 日(土) 名護漁港構内に於いてハーリー大会を開催、例年同様 180 チーム
がエントリー、会場には参加者と観戦者で約 8000 人の動員があった。

今回は、エキシビジョンレースとして、鹿児島県根占町から 2 チームが参加され会場を沸
かせた。今回も名護漁業組合の協力を得て無事開催する事が出来ました。

大会結果は下記の通りとなっております。

【男子の部】

優 勝：	新友会	(糸満市)	3. 21. 95
準優勝：	名護市消防本部 A	(名護市)	3. 26. 12
三 位：	宝ハーリークラブ	(南風原町)	3. 33. 91

【女子の部】

優 勝：	サマードラゴンズ	(那覇市)	1. 42. 88
準優勝：	ヤシャドラゴンズ	(読谷村)	1. 44. 25
三 位：	友遊海	(名護市)	1. 47. 41

3. 第 46 代名護さくらの女王選考会

令和元年 12 月 14 日 (土)、名護市産業支援センター大会議室で行われた、さくらの女王選考
会において田場菜都美さん・土居脇奈緒さん・比嘉方実さんの 3 名が第 46 代名護さくらの女
王に選ばれた。3 名の女王は、1 年間の任期で名護市の親善大使として、県内外で名護市の P
R に務めている。

4. 第 58 回名護さくら祭り開催

第 58 回名護さくら祭りに先立ちまして、さくら祭りの一環として行われております、第 46
代名護さくらの女王発表祝賀会が令和元年 1 月 24 日、ホテルゆがふいんおきなわに於いて
開催されました。友好都市の関係者を含む約 100 名余りが参加し、新女王への激励を行った。

「日本の春はここから始まる」をキャッチフレーズに、令和 2 年 1 月 25 日と 26 日の 2 日間
開催。今年は、開花も遅れ 3 分咲きで祭りを迎えました。

市制 50 周年プレイベントとして『名護緋ざくらウォーク』を行い、日本旅行沖縄の協力を
得て、83 名が参加し名護城頂上付近から約 5 K を楽しみながら下山しゴールした。

また、例年通り沖縄美ら島財団と連携し漁港⇄名護城と漁港⇄アグリパークを運行し（二日間利用者 960 名）が利用した。また市街地では、名護大通りをトランジット化させ市民参加型のイベントを実施、また名護漁港で開催されたガーデンフェスタ会場にも多くの方が来訪、友好都市の滝川市・八幡平市・館林市・枚方市の関係者を始め、県内外・海外から約 131,076 人余（本部前 2 日間統計）が来場し祭りを盛り上げた。

5. ハーリー体験事業

21 世紀ビーチにて、企業・修学旅行を受け入れた、漁業組合・ハーリー関係者の協力をいただき安全な海の体験事業を行うことが出来た、『名護ハーリー』は、チームビルディングプログラムを取り入れ、団結力・達成感が図られチームワークと組織力向上に寄与します、今後も旅行社への PR を行っていきたい。

・報奨旅行（企業）：3 件/264 名 ・修学旅行：1 件/50 名

6. 北海道日本ハムファイターズ公認

名護ファイターズクラブ後援会設立総会

令和元年 1 月 28 日（火）名護市産業支援センターにて設立総会を開催。

名護市でキャンプを続けるファイターズとの絆をさらに強固なものにし、春季キャンプやスポーツを通して楽しみながら地域の活性化及び青少年の育成に寄与する事を目的に設立し当協会が事務局となり、個人会員の増強に力を入れ名護協力会と連携し一人でも多くのファイターズファンを増やして盛り上げていく。

7. 防災週刊に伴う災害・防災の会員研修

令和元年 9 月 5 日（木）名護市消防本部にて防災の日及び防災週間により平常時より災害に対する備えを心がける事が重要であり、防災意識の向上を図る目的で研修を開催した。

賛助会員約 20 名が参加、煙避難体験や水害時脱出・初期消火または、地震体験等約 1 時間 30 分程研修を行った。初めて体験する方も多く訓練の重要性を改めて勉強になった。

8. 沖縄三大さくら PR 事業

北部地域への観光誘客を目的に、本部半島（名護・本部・今帰仁）のさくらを県外へ発信し、1 月中旬～2 月中旬にかけて、桜見を楽しんで頂くために、名護・本部・今帰仁の観光協会と美ら島財団が連携を図り、県外の首都圏を中心に 700 事業所の旅行社へポスターを配布した。

【協力事業】

1. 日本さくらの会中央大会総会

平成31年4月9日～11日の日程で、東京/憲政会館にて第54回さくら中央大会へ第45代名護さくらの女王・扇谷麻衣さんと職員1名を派遣した、名護市は県内唯一の日本のさくら100選出されており、さくら前線は南の名護市から日本一早いさくらのPRを行った。

2. 北海道日本ハムファイターズ札幌応援ツアー

令和元年5月8日～11日の日程で、約80名の応援団を札幌ドームに派遣し、ファイターズとオリックス戦を観戦した、グラウンド内では、渡具知市長による始球式をはじめ、さくらの女王からの花束贈呈や歌を披露、名護市関係者でベースランニングやチアガールと一緒にYMCA等も踊り会場を盛り上げた。また、スタンド裏では、名護市の特産品の販売も同時に行い約3時間名護市をPRする事が出来た。

3. 第31回ツール・ド・おきなわ2019の協力

令和元年11月9日(土)10日(日)

今年は、4,552名(県内1,749名・県外2,433名・海外370名)となった。一輪車・三輪車で県内385名エントリーがあり知元の子どもの認知度が高まり年々参加者が増加している。また、時間制限が緩やかなチャレンジレースにひつ出場した選手たちも楽しみながら、やんばる路を駆け抜けた。

4. 第32回 名護・やんばるツーデーマーチの協力

「健康と生きがいづくり」をテーマに、令和元年12月7日・8日の2日間開催、3kmから40kmまでの8コースに1,560名(県外参加者412名)が参加、秋のやんばる路ウォーキングを楽しんだ。名護市全域を舞台にしたこの大会は、日本マーチングリーグ公認18大会の一つで、年末、しかも唯一亜熱帯での大会とあって、最も人気のある大会となっている。観光協会は、商工観光局と連携をしコースの運営業務を行った。

5. 2019冬の街フェスカリークリスマス in 名護

令和元年12月21日(土)名護市十字路商店連合会主管による、第5回目のイベントが行われた。「名護-75-ビール」を楽しみながら当日は、約3,000人の来場を頂きダイヤモンドスのライブが始まると会場は最高潮に達した。

6. 北海道日本ハムファイターズ春季キャンプ支援

令和2年2月1日～25日

新名護球場（タピックススタジアム名護）の受入体制が整い、約1ヶ月の春季キャンプが行われた、天気にも恵まれ最高のコンディションで調整を行うことが出来たと思います。また、少年野球教室や児童施設への訪問も行い、子ども達に夢と希望を与える地域協力も例年通り行って頂いた。

7. 北海道日本ハムファイターズファンの集い

令和2年2月8日（土）21世紀の森体育館にてファンの集いを開催し地元の少年野球の子供たちを含め約500名が参加した。栗山秀樹監督を初め、コーチや選手団総勢約60名が参加し、選手会主催のトークショーやサインの抽選会を行い約1時間楽しんだ。

8. オープン戦の応援支援

令和2年2月22日：対巨人戦 / 23日：ヤクルト戦 / 24日：横浜戦の三連戦応援を行った。最高の天気で三連戦を行ったが、三連敗となった。初日の巨人戦は約5,000名が来場し新名護球場のこけら落としにふさわしい試合となり大いに盛り上がった。

【収益事業】

市営駐車場指定管理事業

平成27年度から市営駐車場の指定管理を受け4年目を迎えます

本市に訪れる観光客の受入体制の整備について様々な取り組みを行っているところであります。特に中心市街地の活性化を図る為に、行政・各団体・市民が一体となり各事業を展開しており、名護市の顔として市街地の継続的な発展が必要であると考えております。

市民は基より、県内のレンタカー利用者は年々増加しており駐車場は必要不可欠となっております。当協会が管理運営することで、これまでの取組みを活かした市街地活性化、市内外から市街地へ訪れる方々の利便性の向上と集客の安定化を図ってまいりました。駐車場業務だけでなく、観光案内機能を備えたサービスの提供を実施し、利用者の満足度を高め、隣接する市営市場や市街地商店会と連携しスムーズな誘導を図ってまいります。

【賛助会員】

平成31年4月1日現在：194社→【新規入会：2社→退会：5社】

令和2年3月31日現在：191社

【アクセス件数】

月	アクセス件数 平成 30 年度	アクセス件数 令和元年度	増 減
4 月	9,692	13,576	3,884
5 月	11,155	20,553	9,398
6 月	12,553	18,338	5,785
7 月	16,973	38,960	21,987
8 月	26,027	25,034	△993
9 月	11,086	18,618	7,532
10 月	12,676	23,625	10,949
11 月	12,091	19,246	7,155
12 月	11,338	20,125	8,787
1 月	31,523	65,167	33,644
2 月	14,130	19,667	5,537
3 月	11,007	12,561	1,554
合計	180,251	295,470	115,219

ホームページのリニューアルから 2 年目を迎えアクセス件数も増えて来ております、スポットマップを活用し名護市の宿泊・飲食・土産等の会員情報や地域のローカルな情報もお知らせページを活用して掲載しております。

年間を通して、観光情報やおすすめページを始め、イベントページが主に見られており、5 月～8 月にかけては、羽地鯉のぼり祭り・名護夏祭り・ハーリー大会等が多く見られております、10 月～3 月にかけては、新名護市営球場の情報を中心に、産業まつり・さくらまつり・羽地コスモス畑等のページが多く見られております。

今後も、地域経済部観光課や商工会等と連携を行い旬な情報収集に努めて行きたいと思っております。